

桔梗が丘地域ビジョン

桔梗が丘“ほつとまち”構想

平成23年11月



桔梗が丘自治連合協議会

はじめに

桔梗が丘では、平成21年桔梗が丘まちづくり委員会と区長会を一体化した新しい組織、桔梗が丘自治連合協議会を設立し、様々な活動に取り組んでいます。

少子高齢化社会のなかで地域の課題も多様化しており、協議会として今後活動を展開していくためには、将来の桔梗が丘のあるべき姿を明らかにし、地域住民が力を合わせて活動していく必要があります。

そのため、協議会では「住民アンケート調査」や「あったらいいな提案募集」を行い、地域住民が桔梗が丘をどのように考えているのかを把握し、地域ビジョンを策定し、総会にて承認されました。

「地域でできることは地域で行おう」という基本的な考え方に基づいて地域ビジョンで明らかにされた施策や事業を行政と連携、協力しながら進めることにしています。

誰もが桔梗が丘に住んでいてよかったと感じられるような地域づくりに取り組む必要があります。

協議会では、地域住民の皆さんをはじめ、各種団体、ボランティアの方々と連携、協力のもと、地域ビジョンの実現を目指したいと考えていますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

平成23年11月19日

桔梗が丘自治連合協議会



桔梗が丘“ほっとまち”構想

1. 桔梗が丘が目指す将来像

人の心が織りなす幸せ社会“ほっとまち”桔梗が丘

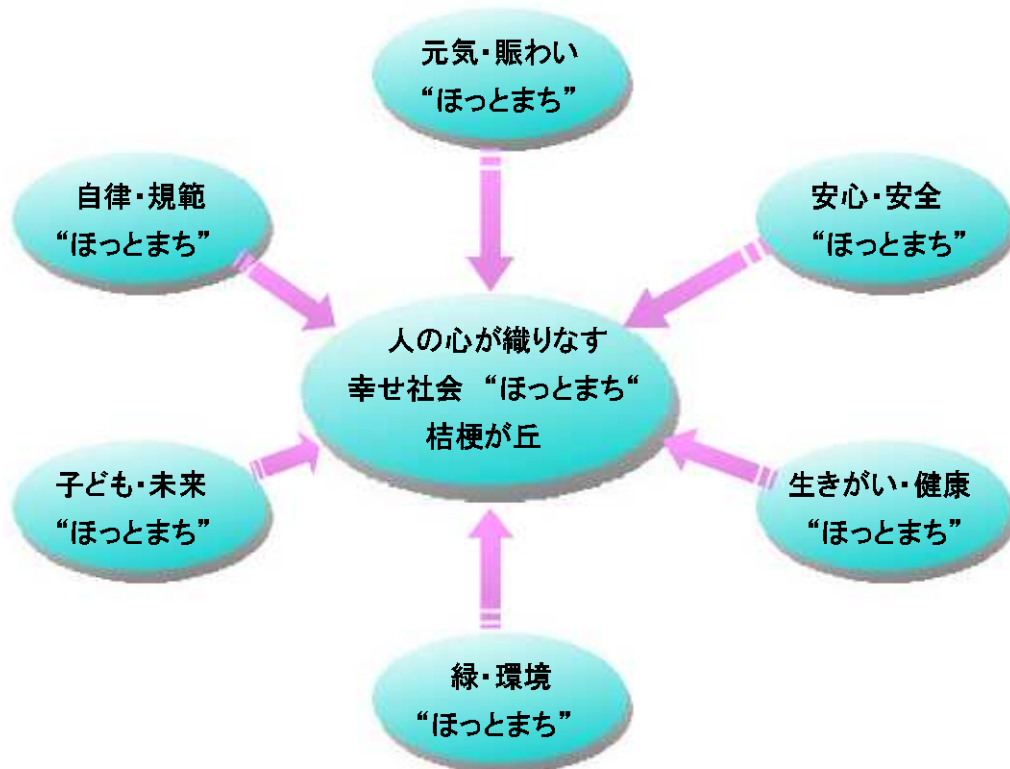


2. 基本理念

ほっとする心地良い居場所、そこには笑顔とやさしさがああり、絆があります。

HOTなまち、そこには人々が行き交い、元気と賑わいがあります。
豊かな心、そこには自然や緑を愛する心、人を思いやる心があります。
そのような人の心が織りなす幸せ社会が“ほっとまち”桔梗が丘です。
私たちは、人がいきいきと輝き、互いを思いやり、支えあい、自分らしさを出せるよう、「人づくり」や「絆づくり」を大切にして、住み良さが実感できる“ほっとまち”桔梗が丘を創ります。

3. 6つの基本的な方向



○ 元気・賑わい“ほっとまち”

誰もが元気で暮らし、人が行き交い、集う活気のある街並みや居場所をつくり、元気・賑わいが感じられるまちを創ります。



○ 安心・安全“ほっとまち”

地域ぐるみでの助け合いの社会や安らぎのある快適な暮らしのなかで、安心・安全が感じられるまちを創ります。



○ 生きがい・健康“ほっとまち”

スポーツ、文化・芸術活動など余暇の充実やボランティア活動で自分らしい生きがいを見つけ、健やかに暮らせる地域社会をつくり、生きがい・健康が感じられるまちを創ります。



○ 緑・環境“ほっとまち”

自然を大切にし、街なかの緑、きれいな街並みを持続させ、環境に関心を持った暮らしを通じて、緑・環境が感じられるまちを創ります。



○ 子ども・未来“ほっとまち”

子どもたちが健やかに育ち、権利が守られ、知・徳・体の向上により、子ども・未来が感じられるまちを創ります。



○ 自律・規範“ほっとまち”

近所づきあい、地域活動を通じて地域への愛着を深め、社会のルールに従い、自分らしさを出せる暮らしのなかで、自律・規範が感じられるまちを創ります。



4. 目標年次

地域ビジョン「桔梗が丘“ほっとまち”構想」の目標を10年とします。

“ほっとまち” 憲章の制定

「“ほっとまち” 桔梗が丘」を実現するために、住民一人ひとりが
価値観の多様性を尊重しつつ、社会的な規範を守り育てる
“ほっとまち” 憲章を定めます。

- 地域活動を通じて広く社会に貢献しましょう
- あいさつを交わすコミュニティを育みましょう
- 未来を託す子どもたちを地域ぐるみで育みましょう
- 自分らしさを発揮し、地域とのつながりを深めましょう
- 自然を守り、心地よい環境を創りましょう



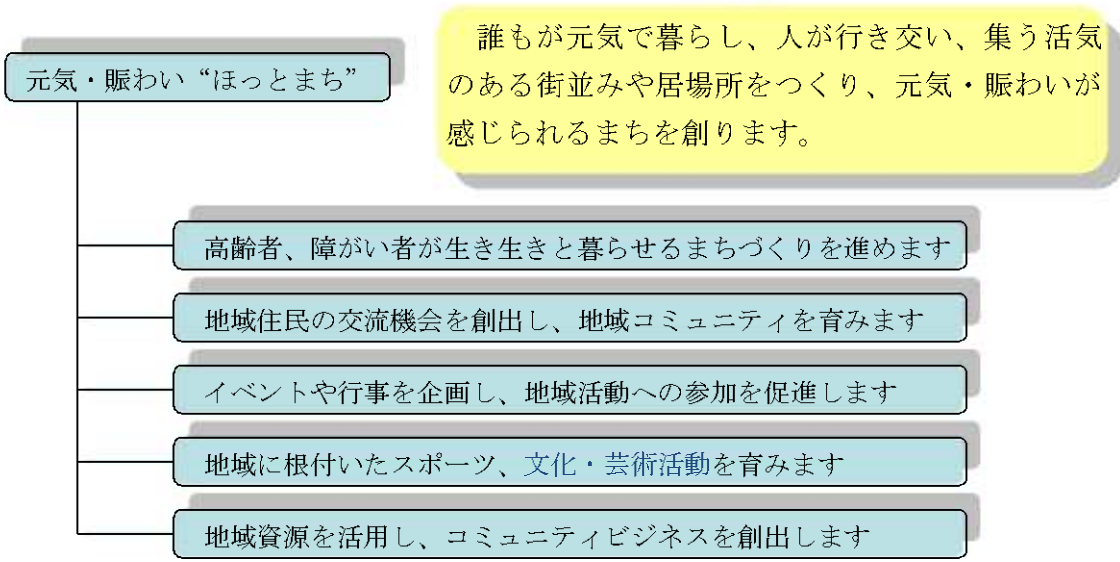
施策の基本的方向（基本計画）

6つの基本的方向の具体的な取組みの展開を明らかにして、具体的な施策や事業を進めます。

I 元気・賑わい“ほっとまち”



(施策の体系)



II 安心・安全“ほっとまち”

(施策の体系)

安心・安全“ほっとまち”

地域ぐるみでの助け合いの社会や安らぎのある快適な暮らしのなかで、安心・安全が感じられるまちを創ります。

みんなが安心して暮らせる治安の良い地域社会を創ります

防災意識の高揚を図り、いざという時に助け合える絆づくりを進めます

交通事故のない安全なまちづくりを進めます

高齢者、障がい者の日常生活を支援するまちづくりを進めます



III 生きがい・健康“ほっとまち”

(施策の体系)

生きがい・健康“ほっとまち”

スポーツ、文化・芸術活動など余暇の充実やボランティア活動で自分らしい生きがいを見つけ、健やかに暮らせる地域社会をつくり、生きがい・健康が感じられるまちを創ります。

余暇の活動等を促進し、生きがいの持てるまちづくりを進めます

健康づくりを進め、笑顔で暮らせるまちづくりを進めます

医療・福祉の充実と地域住民の健康管理を支援します



IV 緑・環境“ほっとまち”

(施策の体系)

緑・環境“ほっとまち”

自然を大切にし、街なかの緑、きれいな街並みを持続させ、環境に関心を持った暮らしを通じて、緑・環境が感じられるまちを創ります。

水と緑を大切にし、恵まれた自然を生かしたまちづくりを進めます

より良い生活環境を創り、きれいなまちづくりを進めます



V 子ども・未来“ほっとまち”

(施策の体系)

子ども・未来“ほっとまち”

子どもたちが健やかに育ち、権利が守られ、知・徳・体の向上により、子ども・未来が感じられるまちを創ります。

子どもたちと地域の絆を深め、地域教育力を高めて健全な成長を育みます

子どもたちの通学の安全を確保します

子どもたちのより良い教育環境を創り、学校生活を支援します

子育てしやすい環境の確保と支援を進めます

子どもたちのスポーツ、文化・芸術活動を支援します



VI 自律・規範“ほっとまち”

(施策の体系)

自律・規範“ほっとまち”

近所づきあい、地域活動を通じて地域への愛着を深め、社会のルールに従い、自分らしさを出せる暮らしのなかで、自律・規範が感じられるまちを創ります。

地域の生活ルールを守り、自律したまちを創ります

路上車庫使用の禁止、ペット飼い主のマナー向上、ゴミのポイ捨て禁止

ゴミだしマナーの向上、空き地・空き家の管理、公共公益施設の使用マナーの向上



“ほっとまち”プロジェクト事業

桔梗が丘“ほっとまち”構想を実現するために重点的かつ戦略的に取り組むことが必要と考えられる“ほっとまち”プロジェクト事業」を推進します。

(プロジェクト事業の実施年度、実施主体および具体的事業内容、事業費、組織等はプロジェクトチームを設置してまとめるものとします。)

プロジェクト事業 1 「何でも屋お助けセンター」の創設

高齢者、障がい者の日常生活や移動、外出を支援する、有償ボランティア制度「何でも屋お助けセンター」を創設します。

プロジェクト事業 2 「ききょう学び舎」の創設

生涯現役で元気に生きがいを持って暮らすことができるよう、生涯学習大学校「ききょう学び舎」を創設します。

プロジェクト事業 3 「ききょう農楽園」の開設

市民農園を開設し、作物の販売や自作自消を推進するため、「ききょう農楽園」を開設します。

プロジェクト事業 4 「地域環境ねっと」の構築

「地域環境ねっと」を構築し、自治会・区のネットワーク化を図り、連携協力しながら地域の快適な環境を確保します。

プロジェクト事業 5 「地域まもり隊」の創設

自主防災活動や高齢者等の安否確認などを地域で取り組む「地域まもり隊」を創設します。

プロジェクト事業 6 拡大版「あそびっくす」の組織化

桔梗が丘東小学校の「あそびっくす」の活動を地域全体に拡げ、常設の拡大版「あそびっくす」を整備します。

プロジェクト事業 7 「ふれあい茶房」の開設

地域住民のふれあい交流を活発にするため、桔梗が丘公民館カフェサロン、コミュニティパブ等「ふれあい茶房」を開設します。

(プロジェクト事業の名称はすべて仮称です)

推進の方策及び体制



地域ビジョンを推進するためには、行政との協働は欠かせませんが、それ以上に、地域住民の皆さんが絆づくりを進め、地域ぐるみの取組みが必要となります。

協議会だけの取組みにとどまらず、自治会・区の活動、PTAや子ども会の活動、ボランティア団体の活動、消防団の活動など地域の様々な団体とのネットワークにより、地域のニーズに対応した取組みの展開を図れるように体制を整備していきます。

高齢化が進むなか、活動の担い手が不足し、活力が失われるということが懸念されていますが、桔梗が丘1万4千人の住民が地域社会をより良いものにして行こうという気持ちの一つにすれば、まだまだ捨てたものではありません。地域ビジョンに基づき、事業を進めるにあたり、潜在的な力が最大限発揮できるよう、多くの住民の参画を得て、地域ぐるみの取組みを展開していきます。

今後協議会は、資料1（取り組むべき施策や事業の一覧）を考慮し、施策や事業の取捨選択、短期長期の分類などを行い、具体的な取組みを進めます。

1. 桔梗が丘自治連合協議会の役割

協議会は地域ビジョンを推進するため、行政と連携し、関係団体、地域住民の参画を支援し、地域づくりの情報を共有しながら、施策や事業の総合調整を行います。

2. 各種団体との連携、協力

協議会は地域ビジョンで示された施策等を各種団体が主体的に取り組むことができるよう連携、協力しながら進めます。

3. 実施計画の策定

協議会は毎年度、実施計画を策定し、具体的な取組み方針や事業計画を明らかにします。

4. 事業推進の体制



協議会はほっとまちプロジェクト事業については、プロジェクトチームを設置し、メンバーを公募するなど人材の確保を図り、事業の推進体制を整備します。






資料編

資料1 取り組むべき施策や事業の一覧（例示）

基本施策	小施策(事業例示)	説明
I 元気・賑わい ”ほっとまち” 	①ゴミだし支援制度の創設	家庭ごみ排出が困難な世帯を地域で支援する仕組みを創ります。
	②宅配システムづくり	買物が自由にできない世帯の解消を図るため、量販店等の協力を得て、宅配システムを構築します。
	③ユニバーサルデザインの街づくり	地域住民誰もが同じように生活できる環境を整備します。
	④コミュニティの推進	地域住民が集える集会所や公園の整備を進め、世代間の交流、コミュニティ活動の活性化を図ります。
	⑤地域活動と元気づくり	小学校空き教室等あらゆる場所を有効活用し、イベントや地域活動などを行うとともに、交流の場として利用し、地域の元気を創ります。
	⑥文化芸術活動の支援	公民館のサークル活動や若者が楽しめる音楽活動等を支援するとともに、発表の場、機会を確保するなど文化芸術活動を通じて、地域の元気を創ります。
	⑦元気な商店街づくり	空き店舗を活用し、高齢者から若者までが商店街を利用できるよう、元気な商店街づくりを促進します。
基本施策	小施策(事業例示)	説明
II 安心・安全 ”ほっとまち” 	①防犯パトロールの実施	青色回転灯による巡回パトロールや自治会区単位の防犯パトロールを促進します。
	②防犯灯の計画的配置と適正管理	地域内の暗闇箇所を点検し、計画的な配置を進め、適正な管理に努めます。
	③防犯意識の高揚	集会等を通じて防犯意識の高揚を図ります。
	④門灯の点灯運動の展開	防犯灯を補完し、暗闇の解消を図るため、門灯の点灯協力を要請します。
	⑤交番との連携協力	桔梗が丘交番と連携し、家庭訪問や巡回を行います。
	⑥自主防災組織力の強化	組織の見直しと実効性の確保、防災意識の高揚と周知徹底、防災訓練等を行います。
	⑦防災マップの適正管理	防災マップの見直しや危険度チェックを行い、危険箇所の解消に努めます。
	⑧要援護者の支援	要援護者支援マップにより支援します。

	⑨減災対策	家具転倒防止や火災報知器、消火栓ボックスの取扱い等減災対策を進めます。
	⑩交通安全施設の整備促進	歩道の段差の解消、横断歩道及び信号機の設置等の整備を促進します。
	⑪交通マナーの啓発	不法駐車対策や自動車運転マナーの啓発を行います。
	⑫防犯対策	子どもたちを不審者等から身を守るため、パトロール等地域の取組みを強化します。
	⑬何でも屋お助けセンターの設立	高齢者等の日常生活をサポートする有償ボランティア制度何でも屋お助けセンターを設立します。
	⑭施設等の安全対策	公共施設のバリアフリー化の促進や手すり、スロープ等の安全対策を促進します。
基本施策	小施策(事業例示)	説明
Ⅲ生きがい・健康 ”ほっとまち” 	①生きがいサロンの充実	高齢者が集い、語らうサロン活動を充実し、生きがいを持った生活ができるよう支援します。
	②配食サービスと見守り	高齢者への配食サービスを充実させ、声掛けや見守り活動を行います。
	③家庭訪問等見守り活動	友愛訪問等高齢者世帯の家庭訪問による見守り活動を進めます。
	④障がい者とのふれあい・交流	障がい者が地域で普通の生活ができるよう、ふれあい・交流を促進します。
	⑤市民農園（自作自消）	市民農園の設立、運営を行い、農作業で元気な汗を掻けるようにします。
	⑥生涯学習大学の創設	生涯現役で地域活動に参加できるようにするため、生涯学習大学を創設します。
	⑦老人クラブの育成	老人クラブの活動が停滞しており、組織の活性化を図ります。
	⑧ふれあい・交流対策	ラジオ体操の普及啓発、いきいきサロン、シルバーコンパ等高齢者のふれあい交流事業をさらに進めます。また、新たな事業も取り入れ、活発に活動を展開します。
	⑨健康づくり	ききょう健康祭りやニュースポーツ世代間交流大会等の健康づくりに多くの参加が得られるように進めます。
	⑩医療機関の確保	市立病院の機能強化や地域内での診療所の確保を働きかけます。

	⑪健康診断体制の確立	がん検診等の受診率向上を図るなど健康診断体制を確立します。
	⑫ホームドクター制度	かかりつけの医者を持つことが大切であり、ホームドクター制度を促進します。
基本施策	小施策(事業例示)	説明
IV緑・環境 ”ほっとまち” 	①自然環境の保全と活用	地域内にある自然公園や河川等自然環境の保全と活用を図ります。
	②特色ある公園づくり	地域には大小30箇所以上の公園があり、特色ある公園づくりを進めます。
	③公共施設の整備	道路、歩道、側溝等公共施設の整備を促進します。
	④危険箇所の排除	防災マップで示されている危険箇所等の改善を図ります。
	⑤きれいな街並み整備	ゴミ捨てのない、犬の糞処理等きれいな街を守ります。
	⑥エコ対策	CO2削減等エコ対策として地域で出来ることから取組みを進めます。
	⑦街路樹の剪定	街路樹の剪定を定期的に行えるようにします。
	⑧景観計画の策定	景観を阻害する看板等の撤去や街並み景観形成等の景観計画の策定を行います。
	⑨花いっぱい運動	花いっぱい運動を地域ぐるみで展開します。
	⑩ごみ減量・リサイクル対策	家庭ごみの搬出方法の仕組みやリサイクル運動の取組みを進めます。
	⑪公共交通対策	地域内循環バスの利便性の確保、コミュニティバスの導入等交通弱者に対する支援を進めます。
	⑫住居表示の整備	住区がわかる表示板の整備を行います。
	⑬屋外掲示板の設置	自治会掲示板の設置を促進します。
基本施策	小施策(事業例示)	説明
V子ども・未来 ”ほっとまち”	①世代間交流、連携施策	子どもたちと地域住民との交流機会を多く創ります。
	②親子、子ども同士の交流	スポーツやボランティア活動を通じて親子、子ども同士の交流機会を確保します。
	③地域で子どもを育てる	子ども会育成会を再構築し、地域で子どもを育てる仕組みを創ります。
	④子育て支援	子育て世代の家庭を地域で見守る活動を展開します。また、学童保育の充実を図ります。

	⑤こころの思い発表会	地域と子どもの距離を縮めるため、「こころの思い発表会」を継続します。
	⑥防犯対策	変質者等から身の安全を守るため、地域でしかできないことを行います。
	⑦登下校の安全対策	通学路の安全点検や見守り活動を継続して行います。
	⑧駅構内通学の解消	桔梗が丘駅構内を通学路としている状況を解消できるよう要請をしていきます。
	⑨教育施設の整備	学校のバリアフリー化、教室の冷暖房施設、校庭の芝生化等施設の改善を要請します。
	⑩保育・学童保育の充実	子育て世代を支援するため、保育・学童保育の充実に働きかけます。
	⑪文化芸術振興	子どもたちの文化芸術活動について、見る機会、する機会を確保できるよう支援します。
基本施策	小施策(事業例示)	説明
VI 自律・規範 “ほっとまち” 	①路上車庫使用の禁止	路上を車庫利用しないよう警察と連携し、啓発します。
	②交通安全マナーの向上	交通ルールを守り、事故のない地域にするため、マナーアップの啓発を行います。
	③飼い主のマナー向上	犬の散歩時の糞処理等飼い主のマナー向上を啓発します。
	④空き地・空き家の地域管理体制の強化	空き地、空き家の適正な管理を自治会で行うなど体制を強化します。
	⑤ごみのポイ捨て禁止とゴミだしマナーの向上	ゴミのポイ捨てやゴミの分別徹底などを啓発します。
	⑥公共公益施設の使用マナー向上	公民館、公園、駅前広場等の利用者のマナー向上を啓発します。

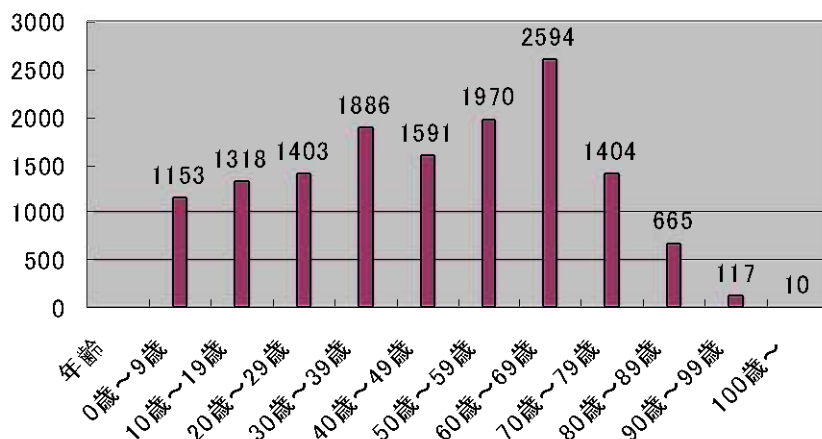
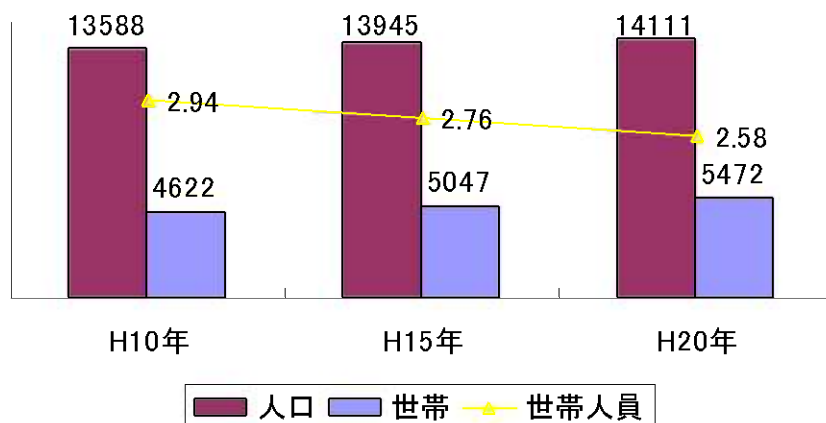
注) 小施策(事業例示)は、基本施策に関係するものとしてあげており、複数の項目に該当する場合があります。また、現在協議会の各部会で実施しているものもあります。

資料2 桔梗が丘の人口推移



地域ビジョンを策定する上で桔梗が丘の将来人口はどうか、高齢化はどのように進行していくのかといったことが重要になります。桔梗が丘の人口の推移をみると、桔梗が丘西地区が増加し、桔梗が丘及び桔梗が丘南地区は減少していますが、全体では、ほぼ横ばい状態となっています。高齢化は、年々進行しており、23%に達しています。今後の人口予測は、数値的には出せませんが、桔梗が丘全体では、桔梗西地区の増加傾向がしばらく続き、他地域の減少傾向もこのまま推移するものと予測され、全体では、減少するものと考えられます。

高齢化についても桔梗が丘及び南地区で年々進行し、市が予測しているように、10年後には、25%に達するものと考えられます。高齢化社会を迎えるなかで、地域のあり方を検討しました。



(H20年資料)

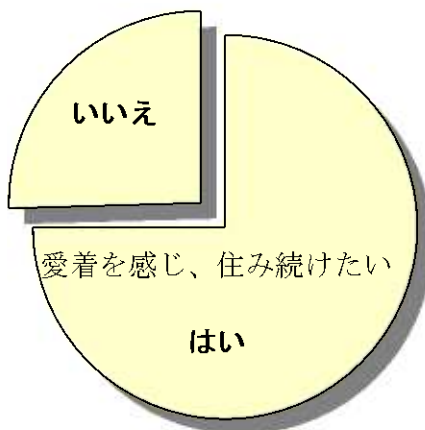
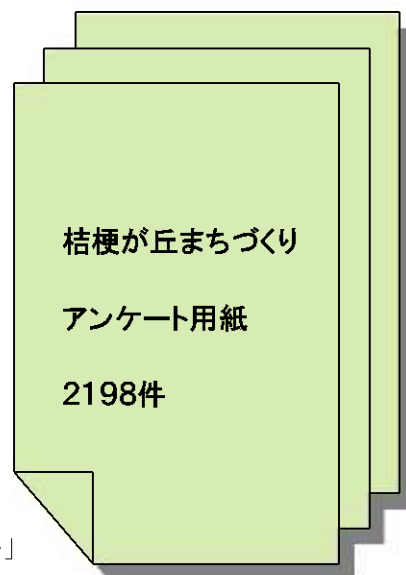
資料3 アンケート結果及び考察



平成22年7月から8月にかけて桔梗が丘全世帯を対象にアンケート（1世帯あたり3名分）を自治会・区を通じて実施し、2198件の回答をいただきました。

今回のアンケート結果で大事な設問である、「桔梗が丘に愛着を感じている」及び「桔梗が丘に住み続けたい」

に「はい」と答えた割合は、それぞれ75%及び73%となっています。桔梗が丘住民のこの想いを大事にして住みよいまちを創ることが必要です。



アンケートで「満足度」を問う設問項目は、「地域での安全・安心」及び「地域での快適さ」について、全部で23項目、回答は満足、やや満足、ふつう、やや不満、不満の5段階としました。満足度（満足+やや満足）と不満足度（やや不満+不満）の数値を比較し、また、意見の記入欄の件数及び内容についても分析を行いました。

なお、今回は、男女別、年齢別、地域別に各設問を分析はしていません。参考までにアンケートを提出していただいた、男女の比率は、男性43%、女性56%（無回答1%）、年齢構成では、60代が約30%、次いで70代、50代の順となっています。

満足度を問う項目のアンケートの結果は次表のとおりです。

1. 満足度・不満足度ランキング

単位：％

順位	項目	満足度	項目	不満足度
1	自然の豊かさ	5.5	市内で働く場所の多さ	5.0
2	治安の良さ	4.3	医療、福祉施設	4.4
3	買い物の利便性	3.5	街路樹の維持管理	3.3
4	日常生活の移動の利便性	3.0	街灯、防犯灯等防犯施設	2.9
5	公共交通の充実	3.0	余暇を楽しむ施設、機会充実	2.8
6	ごみが少なくきれいな街	2.8	公園の整備、管理	2.8
7	歩道、信号、標識等施設	2.7	健康づくりの施設、機会	2.8
8	防犯パトロール、防犯啓発	2.7	歩道、信号、標識等施設	2.5
9	街灯、防犯灯等防犯施設	2.4	障がい者、高齢者に優しい街	2.4
10	ごみ減量、リサイクル活動	2.4	飲食施設の利便性	2.3

注) 満足度＝満足＋やや満足の回答数、単位：％

不満足度＝不満＋やや不満の回答数、単位：％

この表からわかることは、満足度の高い上位2項目は、「自然の豊かさ」「治安の良さ」をあげており、不満足度の高い上位2項目は、「市内で働く場所の多さ」「医療福祉施設」をあげており、いずれも名張市が抱える問題を評価したような結果となっています。

また、満足度のランキングをみると、「買い物の利便性」「日常生活の移動の利便性」「公共交通の充実」について30％～35％の方が満足しており、公共交通機関等が充足されているといえます。不満足度のランキングでは、「街路樹の維持管理」「街灯、防犯灯等防犯施設」「余暇を楽しむ施設、機会充実」「公園の整備・管理」「健康づくりの施設・機会」について28％～33％の方が不満としており、公共施設の整備、管理等に対する不満が表れています。

2. 意見記述の集約

自由記述による意見については、満足度を問う23項目に対して、現状や課題の指摘、或いは、要望や提案型の内容となっており、約1800件いただきました。

項目別に多いものは、次表のとおりです。件数の多い項目は、街路樹の管理、歩道の不備、街灯・防犯灯の不足、医療・福祉施設等への不安、働く場所が少ないこと、公園の整備や管理の問題など日常生活に関係する課題等であり、意見の多くはこれらに対する指摘や提案、要望となっています。

項目	件数
街路樹維持管理	180
歩道、道路標識、信号等交通安全施設	176
街灯、防犯灯など防犯施設	176
医療、福祉施設	175
市内の働く場所の多さ	103
公園の整備、管理	102
日常生活の移動の利便性	97

3. 考察

今回のアンケート調査の結果から、桔梗が丘住民の多くは、安心、安全の確保（防犯、防災）、医療、福祉の充実（医療機関、福祉施設の不足）、若者の雇用対策等（若者の定住）に期待を寄せていることがわかります。また、街路樹の管理、防犯灯の設置、歩道の改修、路上駐車対策等日常生活における身近な課題の解決に向けた取組み

も必要であることがわかります。

安心安全な暮らしを確保し、住みよい桔梗が丘にしていくためには、まだまだ多くの課題を解決していかなければなりません。これらの取り組みを具体化するためには、地域住民総ぐるみで取り組むことが必要です。

特に不満足度の高い項目については、桔梗が丘だけでは解決できないため、名張市に働きかけ、地域としてできることを自ら進めていく必要があります。



資料4 策定までの経緯



平成22年6月 地域ビジョン策定プロジェクトチーム設置

地域ビジョン策定プロジェクトチームを立上げ、企画運営委員会及び各部会から選出されたメンバー10名で構成し、ビジョンづくりがスタートしました。

平成22年6月 住民アンケート調査の実施

住民アンケート調査を全世帯にお願いしました。回答を寄せていただいた2198件について、結果の集計と分析を行いました。

平成22年8月 まちづくり講演会の実施

「絆づくりからまちづくりへ」と題して、四日市大学松井真理子教授を講師に迎えて講演会を開催。60名程の参加があり、まちづくりについて、ワークショップを行いました。

平成22年10月 あったらしいな提案募集の実施及び展示

アンケート調査と同時にあったらしいな提案募集を行い、375名の方から393件の提案があり、1ヶ月間、桔梗が丘公民館ロビーにパネル展示し、来訪者に見ていただきました。

平成23年5月 地域ビジョン策定中間報告

定時総会で地域ビジョンの基本構想（案）の中間報告をしました。

平成23年10月 地域ビジョン素案策定

地域ビジョンを「桔梗が丘“ほっとまち”構想」として、基本構想及び基本計画（案）を策定しました。

資料5 地域ビジョン策定プロジェクトチームメンバー



小澤 正弘	神谷 宏	金谷 保史	鍛 信義	小坂 美代子
高槻 茂夫	辻森 保蔵	栃下 健二	阪本 忠士	坂本 直司
野邊 薫	原田 忠義	(チームリーダー)		



桔梗が丘自治連合協議会

www.kikyogaoka.jp

〒518-0626

三重県名張市桔梗が丘 6 番町 1-131-4

TEL 0595-65-1206

MAIL TO : info@kikyogaoka.jp